検知管：性能試験について概要

1. 試験機関

Vojenský výzkumný ústav, s. p.（The Military Research Institute, VVÚ）
所在地：Military Research Institute, s.p. Veslařská 230, 637 00 Brno, Czech Republic
試験実施ラボ：BCHL & BBP detection 部門(B=Bio, CH = Chemical, L = lab)
所在地：Rybkova 8, 602 00 Brno
チェコ国防省直属の国立軍事研究所であり、NATO 加盟国の中でも、GB（サリン）、GD、VX などの実際の神経剤を取り扱って試験できる数少ない CBRN 専門施設のひとつです。欧州においても最高レベルの信頼性と実績を持つ CBRN 試験機関として知られています。

2. 試験対象

製品：

- DT-11 (GB,GD,VX,GA,GF,GP)
- DT-12.1 (CG,DP,CK,AC)
- DT-15 (H,HD)

3. 発行者・日付

発行者：Ing. Jiří Kadlcák, CSc.
発行者肩書き：Head of the Department of Analysis, Military Research Institute, s.p.
報告書発行日：2019 年 5 月 15 日

4. 試験内容

本試験では、ORITEST spol. s r.o. より提供された DT-11、DT-12.1、DT-15 の 3 種類の化学剤検知管について、性能確認試験を実施。
試験においては、技術仕様書に定められた濃度の化学剤を発生装置により生成し、この試験用混合ガスを各検知管へ通気した。
検知管に現れた発色について、付属の色見本と比較する方法により判定を行った。

5. 使用化学剤と試験濃度

検知管	評価濃度	結果
DT-11	0.05 mg/m³	Positive
DT-12.1	5 mg/m³	Positive
DT-15	3 mg/m³	Positive

6. 試験方法

検知管の標準使用方法による検査

7. 試験結果

その結果、今回提供された DT-11、DT-12.1、および DT-15 の各検知管は、技術仕様で要求される濃度において、指定された化学剤（CWA）を適切に検知できる性能を有する ことが確認された。